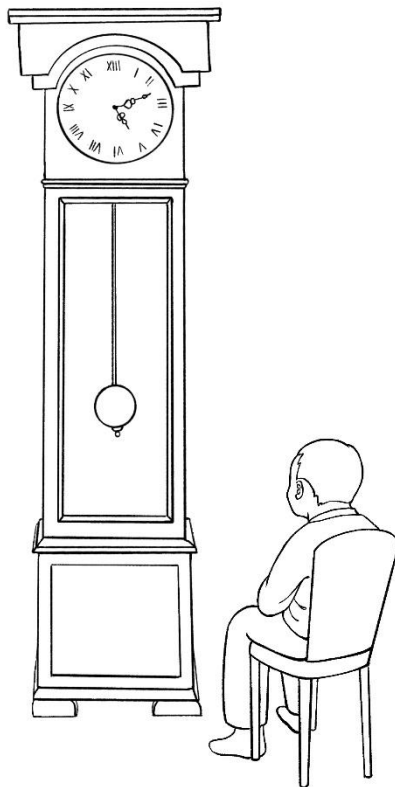


めいきよく
名曲シリーズ：ある男と時計の物語



Sasaki Akino

(Drawn by Akino SASAKI)

これは、ある男と時計の物語です。



その男の前には、大きな時計がありました。

とても大きな時計で、棚に置くにはちょっと大きすぎました。ですから、床の

うえ ちよくせつ お
上に直接置かれていました。それでも、時間を確認したいとき、ほとんどの人
は時計を見上げなければなりません。それくらい大きな時計でした。

おとこ
男は、この大きな時計をととても気に入っていました。なぜなら、その時計は
おとこ う ひ あさ りょうしん か
男が生まれた日の朝に、両親が買ってきたものだからです。つまり、今からち
ょうど 90年前に、この時計が男の家に来てきたこととなります。

いま
今、90歳の男は時計の前に立っています。時計を見つめていると、いろいろ
むかし おも で おとこ あたま なか う き
な昔の思い出が男の頭の中に浮かんでは消えていきます。まだ子供だったこ
ろ、男の目から見た時計は、今よりも、もっと大きく見えました。背の高い青年
に成長したあとでも、自分よりも高い時計は、男の自慢の時計でした。勉強
やスポーツで失敗して、自信を失いそうになったとき、男はいつもこの時計の
ことを思い出し、心をなぐさめました。

そして、あの日のこと、そう、人生で一番幸せだったあの日のことも思い出
します。それはずっと好きだった人と結婚することができた日です。

きょうかい けっこんしき お
教会で結婚式を終えたあと、男は自分の妻となった女の手を取って、この
いえ もど
家に戻ってきました。ドアを開けて中に入ったとき、時計は鐘をちょうど 24回
な
鳴らしました。それは二人にとって、一番の祝福となりました。

あの日からもう数十年。妻と一緒に作り上げた暖かい家庭は、子どもが増え

てにぎやかになり、^{いま}今では^{まご}孫もいます。しかし、^{おとこ}男の^{となり}隣には^{つま}妻の^{すがた}姿はありません。

^{いま}今、この^{ひろ}広い家で、^{いへ}男は^{おとこ}静かに^{しず}時計を^{とけい}見つめています。^み男は^{おとこ}ふと、この^{とけい}時計が^{じぶん}自分にとって^{もつと}最も^{ちゅうじつ}忠実な^{ぶか}部下だったことに^き気がつきます。^{まいにちやす}毎日休まず^{はたら}働き^{つづ}続け、^{もんくひと}文句一つ^い言いません。^{おとこ}男がこの^{とけい}時計にして^{やら}やらなければならないことは^{ひとつ}たった一つ、^{しゅう}週に^ど1度、^{まえ}前の^{とびら}扉を^あ開けて、^{なか}中にある^{まわ}ネジを^{まわ}回してやることだけです。それだけで、この^{とけい}時計はずっと^{やす}休まずに^{はたら}働き^{つづ}続けてくれるのです。

とは言っても、この^{とけい}時計も^{とし}年を^と取りました。^{さいきん}最近では^{かね}鐘が^{こわ}壊れてしまったのか、^{まえ}しばらく^{おと}前から^だ音を出すことはなくなっていました。^{いま}今は^{しず}静かで、^{おお}大きな^{とけい}時計です。

^{おとこ}男は^{とけい}時計を^み見つめながら、^{ちい}小さな^{こえ}声で^い言いました。「ありがとう・・・。」

それが、^{おとこ}男にとって^{じんせい}人生の^{さいご}最後の^{ことば}言葉になりました。その^ひ日の^{よるおそ}夜遅く、^{おとこ}男は^{しず}静かに^{いき}息を^{ひき}ひきました。とても^{しず}静かな^{さいご}最期でした。でも、^{おな}同じ^{いえ}家に^す住む^{かぞく}家族、^{むすこふうふ}息子夫婦や^{まご}孫たちは^きはっきり^{とけい}聞き^{かね}ました。時計の^{まよなか}鐘が^{いっかい}真夜中に^な一回だけ鳴ったのです。それまで^{こわ}壊れて^なしまっ^{かね}て^{いっかい}鳴ら^ななかった鐘が、^{いっかい}たった一回だけ、^な鳴ったのです。

その^{かね}鐘の^{おと}音を^き聞いた^{まご}孫は^{おも}思いました。

「ああ、^{だいす}大好き^{ほんとう}だった^{たびだ}おじいさんは、^あ本当に^あ旅立^あってしまったんだ。もう^あ会えなくな^あってしまったんだ。」

その日から、時計は動きを止めました。そして、二度と動くことはありませんでした。



これは “Grandfather's Clock” というアメリカの有名な歌の物語です。日本でも「大きな古時計」というタイトルで大人から子供にまで親しまれている、人気のある歌です。興味があれば、ぜひこの素敵な歌をインターネットで探して、聴いてみてください。

(1297字)

(2021.4 Written by Yuki MORI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.